

第2回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

[日 時] 令和3年1月14日（金）午後6時00分～午後6時28分

[場 所] 府中市役所 北庁舎5階 旧食堂横会議室

[出席者] 委 員（五十音順・敬称略）

井上 郁子、柏 千夏、金森 泰、櫻井 誠、志水 清隆、
高野 佳子、田中 忍、長崎 益治、長谷川 紀子、濱中 重美
事務局等

石橋政策総務部長、志摩職員課長、菅職員課長補佐、
伊藤人事係長、山口主任

矢ヶ崎教育総務課長、坪井監査事務局長、

遠藤議会事務局庶務課長、関田議会事務局議事課長

[会議経過]

1 開 会 会長の司会により開会。

2 議 題

(1) 追加資料説明

(2) 審議・質疑

(3) 今後の会議日程

別紙参照

(4) そ の 他 事務局（人事係長）より、前回の会議録について修正事項の有無の確認及び公開の手続きについて説明があった。

(1) 追加資料

- (会 長) 事務局から追加資料の説明をお願いします。
 (事務局) (人事院勧告や東京都人事委員会勧告等についての追加資料について説明)

(2) 審議・質疑

- (会 長) 事務局から補足説明があればお願いします。
 (事務局) 過去の審議会の議論を踏まえ、議論の論点について、大きく4点ほど考えられるかと思えます。1つ目は現在の日本経済の状況と府中市の財政状況、2つ目は特別職の報酬等の改定の推移と一般職員の給与改定の推移、3つ目は市長・副市長・教育長・常勤監査委員の職責、議員の活動状況等、4つ目は人口や財政力などが類似した団体と比較した場合のバランスであります。この4点をどのように考え、判断するかが大きな論点です。なお、先日の緊急事態宣言の発出を受け、審議会の開催回数の確保が難しいことや答申の時期をあまり引き延ばすことができないため、できましたら本日の審議会で結論を決めていただきたいと考えております。よろしくご審議をお願いいたします。

- (会 長) 事務局から、できれば本日の審議会で、結論を出して欲しいとの説明がありました。審議の方法ですが、質疑の後、報酬額等の方向性について、お一人ずつご意見をいただき、方向性を確定させ、仮に「引上げ」、「引下げ」となった場合は、役職ごとの具体的な報酬額を決定し、改定の実施時期について審議をしたいと思います。いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

- (会 長) それでは、まずは全般を通してご質問をお願いします。
 (委 員) コロナ禍における対応として、期末手当の20%減額を行った対象者を教えてください。

- (事務局) 期末手当の減額を行ったのは、市長、副市長、教育長、常勤監査委員です。

- (会 長) 他に質疑がなければ、次に、報酬等の方向性について、委員の皆様からお一人ずつ順番にご意見ををお願いします。

- (委 員) 皆さん「引上げ」はないとの認識であると思えます。「据置き」か「引下げ」とするかですが、「引下げ」と考えます。資料3の過去の推移をみますと、平成22年に「引下げ」を行っており、これはリーマンショックを契機とした経済情勢の悪化を踏まえたものです。今回のコロナ禍もそれ以上の経済的な打撃があると言われており、先行きも不透明な状況であることから、「引下げ」が受

当であると考えます。過去の審議会では、ご説明いただいた論点に沿って議論を行ってきましたが、今回はコロナ禍による影響を優先すべきと考え、「引下げ」が妥当であると考えました。

(委員) コロナ禍の影響はありますが、「据置き」と考えます。公務員と民間の給与の較差はなく、他市との比較においても、財政力や規模を考えても妥当な金額であると考えます。

(委員) コロナ禍の情勢ではありますが、他市の状況と比較しても「据置き」が妥当であると考えます。

(委員) 判断に迷いますが、「据置き」とするより、少し「引下げ」とすることが妥当であると考えます。コロナ禍の中で、市のトップとしてどれくらいの発信力があつたのかという観点で考えた時に、積極的な協力が得られず、今後の見通しに関する発信がなかった点を残念に思っています。他市との比較については考える必要がないと思っており、自治体の在り方として、府中市の積極的な姿勢を期待し、少し「引下げ」とする意見とさせていただきます。

(委員) 「引上げ」は考えられないと思います。「引下げ」か「据置き」とするかですが、社会的にコロナ禍の影響は大きく、地域においても全ての催しが中止となっており、厳しい状況での「引上げ」は考えられないと思います。他市の開催結果では、「据置き」の結論になっており、他市に倣うわけではありませんが、「据置き」が妥当であると思います。

(委員) 軽微でもよろしいが、「引下げ」するべきであると思います。コロナ禍により市民全員が苦しんでいる中であり、市のトップの報酬が「据置き」とするのは理解が得られないと思います。

(委員) 「据置き」が妥当であると考えます。「引上げ」とすることは、市民感情を考えても理解は得られないと思います。コロナ禍において、行政も様々なイレギュラーな対応が必要であつたと思います。また、ここでコロナ禍による影響を理由に特別職の報酬を下げると、他へ波及するのではないかと考えます。コロナ禍による影響とイレギュラーな対応を差し引いて「据置き」と考えます。加えまして、議員報酬が20年以上変わっていないことから、過去の審議会では見直しの議論もあり、本来であれば今年の審議会では「引上げ」の議論を行いたいと考えていました。しかし、コロナ禍の影響から、現状では理解が得られないと思います。これらを含めまして、今回は「据置き」と意見させていただきます。

(委員) 「据置き」か「引下げ」とするかで悩みました。コロナ禍によって社会情勢の先行きが見えず、オリンピックの開催も危ぶまれている状況ですので、今「引下げ」としても、今後どうなるかは予想できません。現状では、いったん「据置き」とすることがよいと思います。

(委員) 「据置き」が妥当であると考えます。26市の検討状況につき

ましても、審議を行った自治体は「据置き」と結論付けており、同じ状況のなか、結果は共有した方が良いと思います。市民のストレスも相当なものと思いますが、困難な状況の中、小中学校へのタブレット端末の配布や、生活困窮者への給付金やプレミアム商品券による経済支援などを対応いただきました。緊急事態宣言の発令で大変な中、報酬を下げることは他へ波及する恐れもあり、それらを踏まえて「据置き」が妥当であると考えます。

(会 長) 委員の皆さまから様々なご意見を賜りました。「据置き」とするか「引下げ」とするかで大変悩まれ、様々な理由を考えて意見をいただいたと思います。皆さんの意見をお聞きして、「据置き」の意見が多いため、本審議会としては、報酬等の額を「据置き」と決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、本審議会の結論として、報酬等の額を「据置き」と決定します。

(3) 今後の会議日程

(会 長) 今後の会議日程についてですが、事務局より案がありましたら説明をお願いします。

(事務局) 本日の審議結果を踏まえ、会長、会長代理、事務局により、1月下旬に小委員会を開催し、答申書の素案を作成したいと考えております。その後、2月上旬に第3回審議会を開催し、最終的な答申内容を決定していただき、2月下旬に答申書の提出をしていただくことを想定しております。

(会 長) 答申書を提出するまでの流れについて、事務局から説明のあったとおり進めてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、答申書の素案を作成の上、第3回審議会は、私と事務局で日程調整の上、開催させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上